

# 令和2年小田原市議会6月定例会 建設経済常任委員会資料

資 料 名	所 管 課	頁
観光交流センター整備事業について	観 光 課	1
早川駅前広場誘導機能強化工事請負費について	水 産 海 浜 課	2
小田原城址公園及び総構整備事業について	小 田 原 城 総 合 管 理 事 務 所	3
小田原市生産緑地地区の区域の規模の特例に関する条例について	都 市 計 画 課	4
歴史的風致形成建造物耐震等改修事業について	まちづくり交通課	5
指定道路管理システム整備事業について	建 築 指 導 課	8
市道 0026 横断架空線地中化工事等について	道 水 路 整 備 課	9
市道 0001 横断架空線地中化工事について		10
小田原用水改修工事について		11

令和2年6月16日

## 観光交流センター整備事業について

小田原市観光交流センターの令和3年度（2021年度）のオープンに向け、指定候補者選定委員会設置、必要な備品等の整備を行う。

### 1 補正予算の概要

(1) 指定候補者選定委員会の委員報酬及び費用弁償

(2) 観光交流センター備品等整備事業費

(内訳)

観光情報盤、多言語案内板、ライブカメラ及び造作家具製作設置業務委託

サイン等工事請負費

初度調弁費

### 2 予算額 53,189 千円

財源 国庫支出金 6,233 千円、地方債 20,600 千円、一般財源 26,356 千円

### 3 イメージパース

建物全体



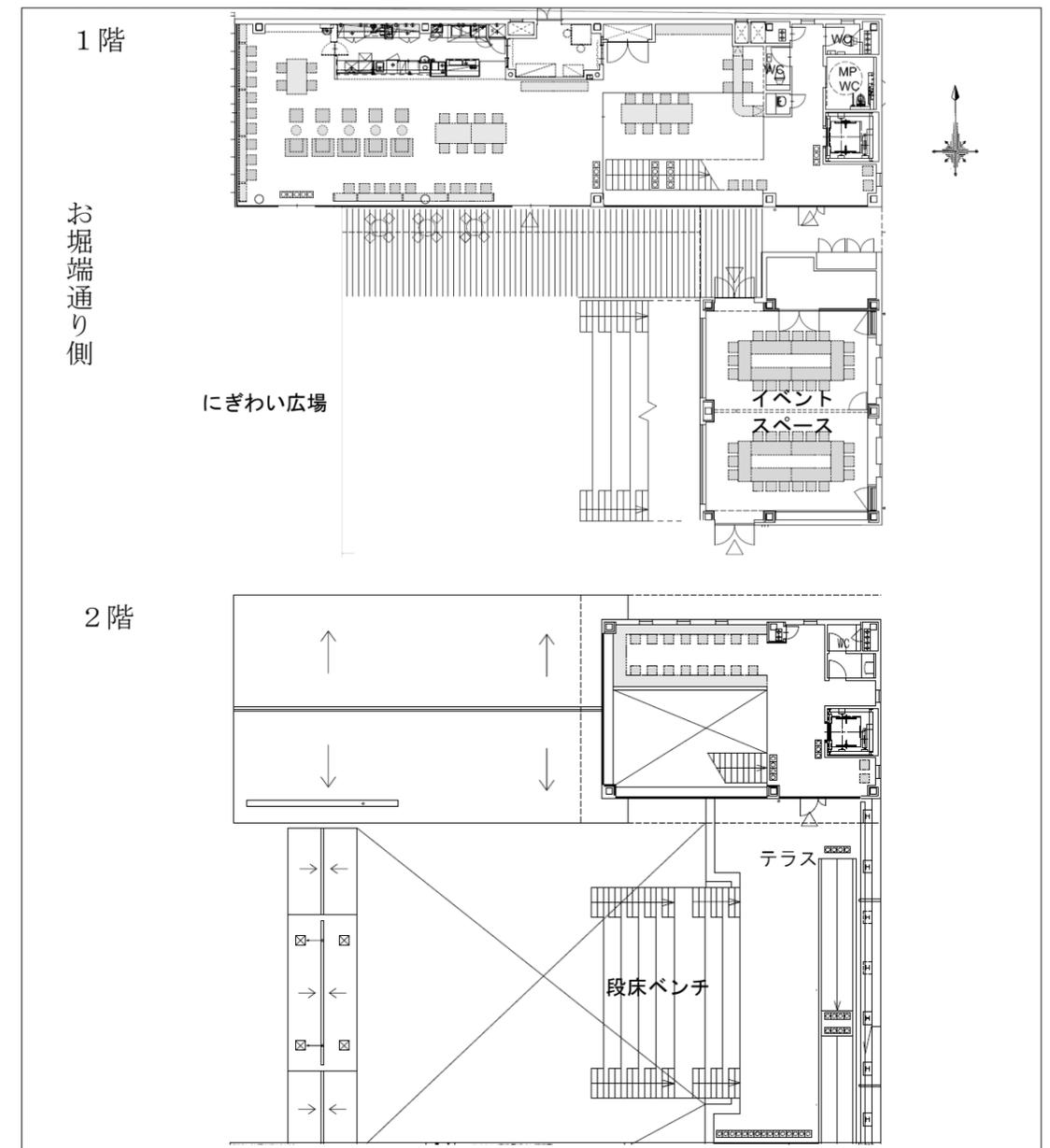
1階イメージ



2階イメージ



### 4 平面図



# 早川駅前広場誘導機能強化工事請負費について

## 1 事業概要

「漁港の駅 TOTOCO 小田原」の開業に伴い、JR 早川駅を利用する乗降客の利便性を高めるため、景観舗装や路面サイン設置等により駅前広場を起点に周辺施設への誘導機能の強化を図るとともに、小田原宿観光回遊バス「うめまる号」の乗り入れも検討し、更なる漁港エリア周辺の回遊性を向上させる。

## 2 工事概要

- (1) 場所：早川駅前広場（早川一丁目地内）
- (2) 期間：令和2年（2020年）9月～12月（予定）
- (3) 内容：舗装打換え工、景観舗装工、路面サイン設置工等

## 3 概要図



# 小田原城址公園及び総構整備事業について

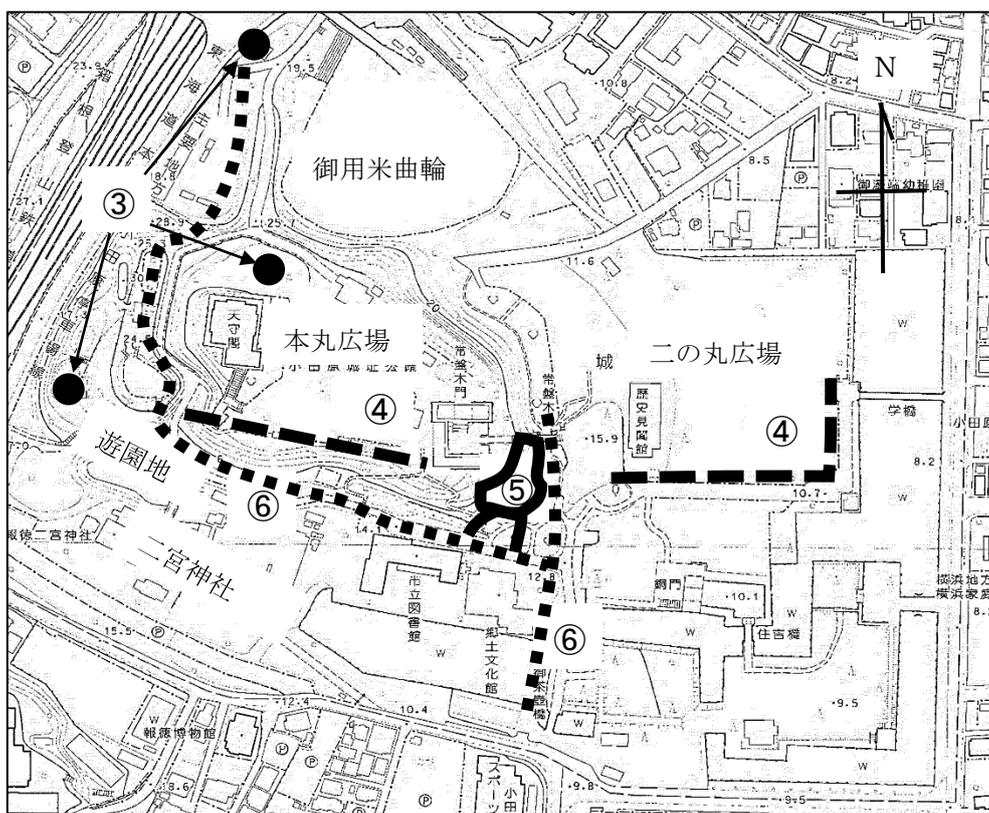
## 1 事業概要

小田原城址公園及び総構をより快適で魅力あるものとするため、都市構造再編集  
中支援事業費補助金及び社会資本整備総合交付金を財源に、説明板等の製作設置、  
便所整備工事、電線地中化工事等の事業を実施する。

## 2 委託・工事等の内容

	名 称	主な事業内容
①	公園内説明板等製作設置業務委託	城址公園内説明板等製作設置 13 基
②	公園内ベンチ製作設置業務委託	城址公園内ベンチ製作設置 20 基
③	本丸広場等便所整備工事	本丸広場トイレ新設、北口・遊園地トイレ改修
④	本丸広場等電線地中化工事	本丸広場、二の丸広場横園路電線地中化 L=400m
⑤	本丸東堀南側園路改良工事	自然色舗装工ほか L=100m
⑥	公園内屋外灯改良工事	城址公園内屋外灯改良 23 本
総構	総構説明板等製作設置業務委託	総構説明板等製作設置 4 基

## 3 位置図





# 歴史的風致形成建造物耐震等改修事業について

## 1 目的

本市では、平成 30 年（2018 年）3 月に「地方再生コンパクトシティのモデル都市」に選定されたことを受け、本市の貴重な歴史的資源である歴史的風致形成建造物について、国の総合的かつ集中的な支援のもと、保全・活用を進めている。

今後、板橋地区に残る皆春荘については、散策のレストスペース（公園的機能）として、また、南町地区に残る旧松本剛吉別邸については、観光交流を促進する拠点施設として、令和 2 年度（2020 年度）末までに一部供用開始することから、来訪者の安全性や利便性の向上を図るため、耐震等改修基本・実施設計の成果に基づき、改修工事を行うものである。

## 2 物件概要

### 【皆春荘】

- (1) 所在地：板橋字寺脇 852 番 1、板橋字上ノ山 812 番 13
- (2) 建築時期：明治 41 年（1908 年）頃
- (3) 敷地面積：2,836.60 m<sup>2</sup>
- (4) 延べ面積：252.82 m<sup>2</sup>（主屋 木造平屋・棧瓦葺）

### 【旧松本剛吉別邸】

- (1) 所在地：南町二丁目 1 番 27 号
- (2) 建築時期：大正 12 年（1923 年）頃
- (3) 敷地面積：2,318.93 m<sup>2</sup>
- (4) 延べ面積の合計：193.05 m<sup>2</sup>
  - ア 主屋 木造平屋・棧瓦葺、延べ面積：148.76 m<sup>2</sup>
  - イ 茶室 木造平屋・棧瓦葺、延べ面積：44.29 m<sup>2</sup>

## 3 事業概要

### 【皆春荘】

主屋の耐震及び劣化箇所等の改修、表門の屋根葺き替え及び腐食部分の修復

### 【旧松本剛吉別邸】

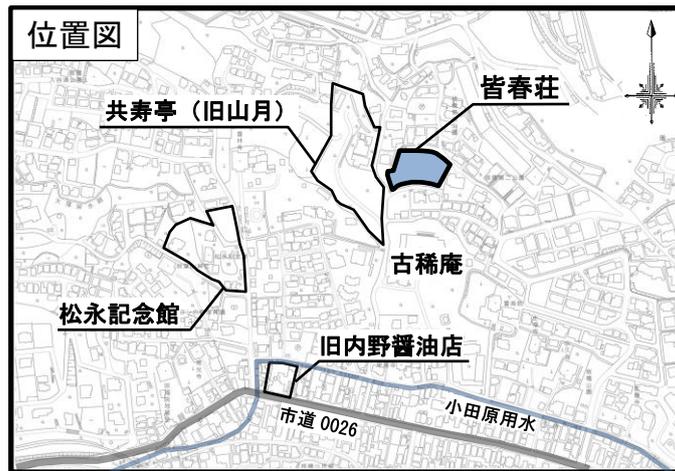
主屋、茶室の耐震及び劣化箇所等の改修

## 4 スケジュール（予定）

令和 2 年度（2020 年度）…耐震等改修工事を実施、板橋散策のレストスペース（公園的機能）及び観光交流を促進する拠点施設として一部供用開始

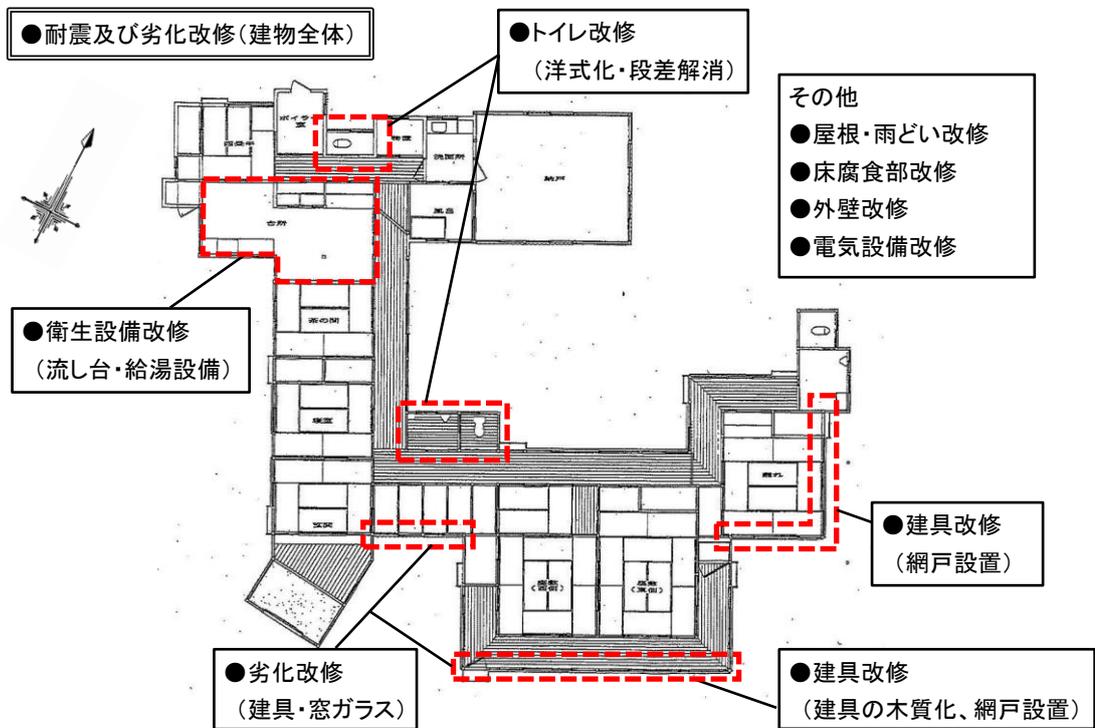
令和 3 年度（2021 年度）…歴史的建造物利活用計画に基づき、民間活用を促進

5 位置図及び主な改修予定箇所  
【皆春荘】

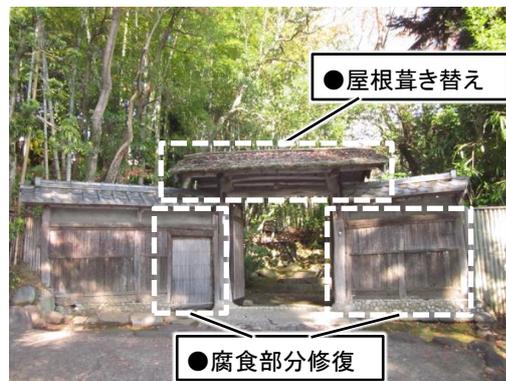


主な改修予定箇所

(1) 主屋



(2) 表門





# 指定道路管理システム整備事業について

## 1 事業概要

建築基準法における指定道路等の路線（約 7,390 路線）を入力した道路管理システムを整備し、道路種別情報を地図上に表示した「指定道路図」を、インターネット上で閲覧できるよう地理情報システム（Navi-0）へ搭載する。

※「指定道路図」のインターネット公開は、国土交通省から迅速で円滑な建築確認審査等を実施するため求められている事業であり、業界団体等からの要望が多く、県内 13 特定行政庁中、10 行政庁で実施されている。

## 2 効果

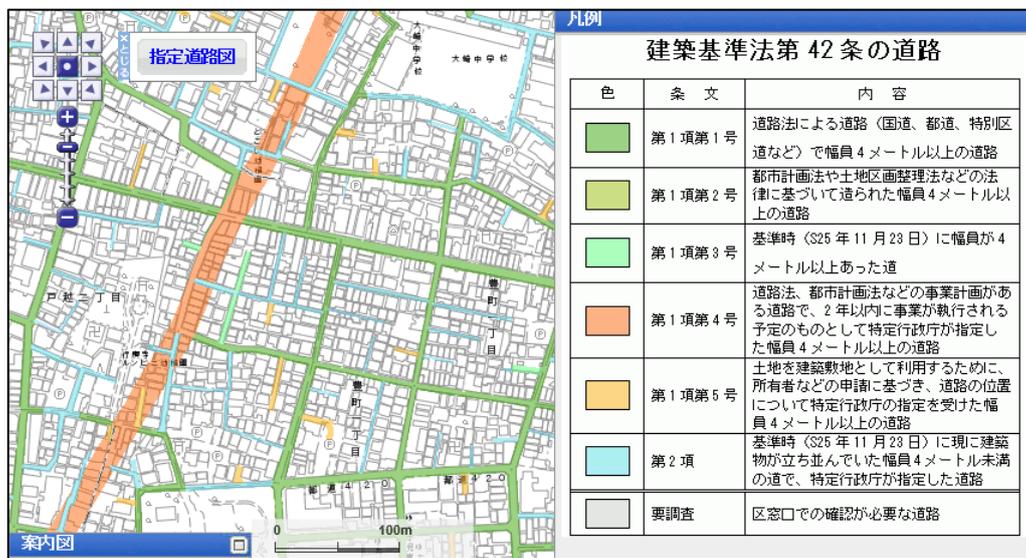
- ・「指定道路図」のインターネット公開により、来庁せずに（閉庁時も）調査が可能となるため、建築確認・不動産調査者の利便性が向上し、建築確認審査業務の円滑化が見込める。
- ・建築基準法における道路情報を一元管理することにより、資料による調査や作成業務等が削減でき、業務の効率を図ることができる。
- ・市が建築確認業務開始後 35 年間蓄積した紙面道路調査情報及び県から引き継いだ 70 年前からの指定道路情報をデータ化することにより、紙資料の劣化・紛失防止、災害等リスクの軽減ができる。

## 3 財源

社会資本整備総合交付金（狭あい道路整備等事業）

交付率 データベースの構築及び指定道路図・調書の作成事業費の 1 / 2

## 4 参考（指定道路管理システム イメージ）



（参考：品川区）

# 市道 0026 横断架空線地中化工事等について

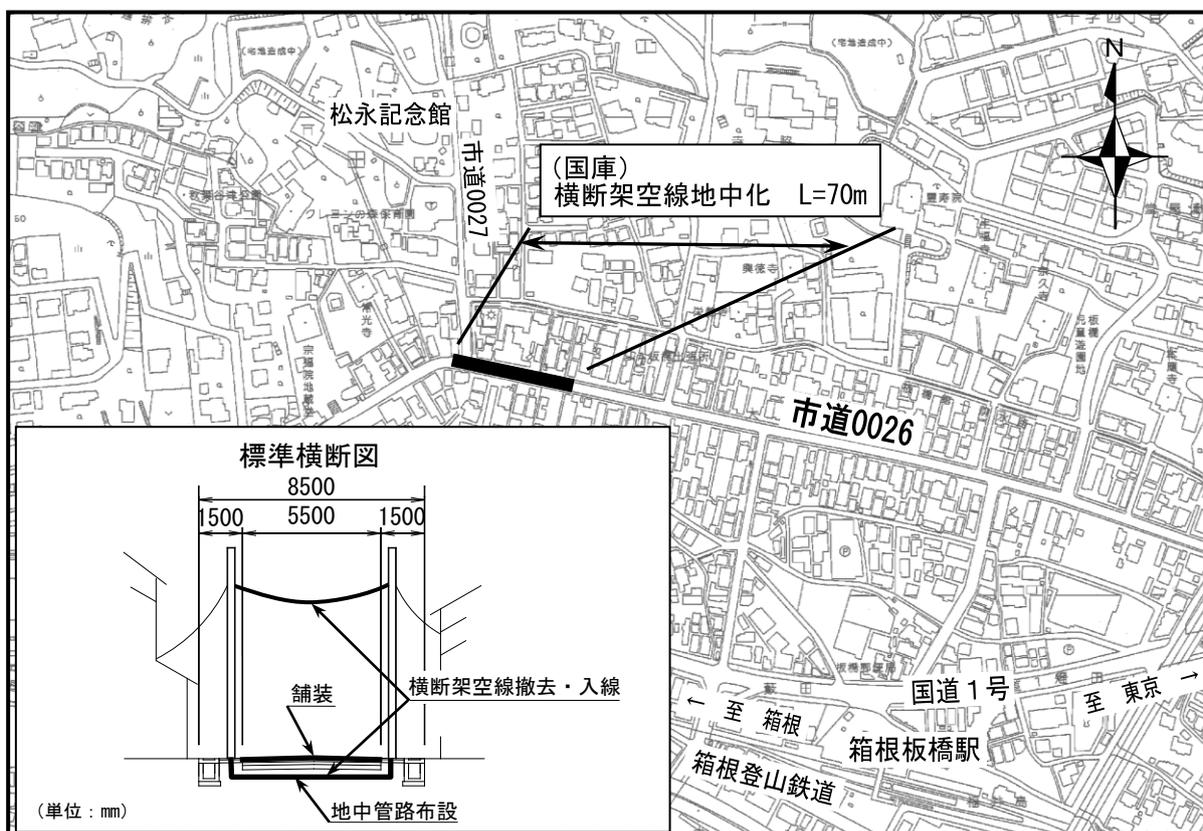
## 1 目的

日本遺産に登録された旧東海道である市道 0026 について、平成 30 年（2018 年）3 月に策定した箱根板橋駅・南町周辺地区の都市再生整備計画（地方再生コンパクトシティ）に基づき、他の構成事業とともに魅力的で活力あるまちなみの実現に向け、モデル区間を定め、横断架空線（電力線、通信線等）の地中化等を行うものである。

## 2 工事概要

地中管路布設	延長 L = 70m	2 箇所
横断架空線撤去・入線	延長 L = 70m	9 箇所
舗装	延長 L = 20m、幅員 W = 5.5m、面積 A = 約 110 m <sup>2</sup>	

## 3 位置図



# 市道 0001 横断架空線地中化工事について

## 1 目的

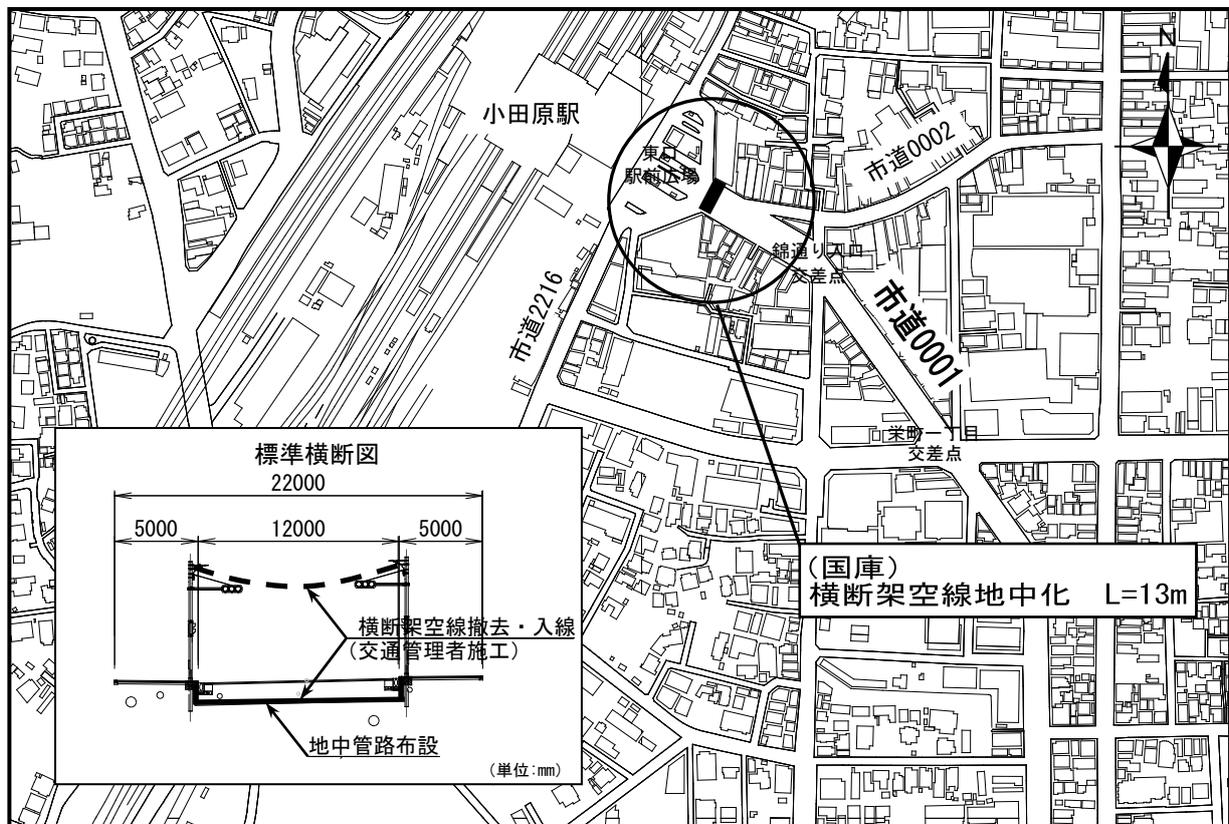
市道 0001（駅前・中央通り）の電線類地中化については、起点の駅前広場付近の横断架空線（信号線）が残っており、ミナカ小田原の開業に併せ、当該箇所の地中化を行うものである。

## 2 工事概要

地中管路布設 延長 L = 13m 1 箇所

※横断架空線撤去・入線は、交通管理者（神奈川県警察本部）にて施工

## 3 位置図



# 小田原用水改修工事について

## 1 目的

本市の歴史的財産の一つである小田原用水（板橋第一排水路）について、平成30年（2018年）3月に策定した箱根板橋駅・南町周辺地区の都市再生整備計画（地方再生コンパクトシティ）に基づき、他の構成事業とともに魅力的で活力あるまちなみの実現に向け、モデル区間を定め、保全・修景等を行うものである。

## 2 工事概要

護岸 延長  $L = 35\text{m}$ （両岸）

舗装 延長  $L = 35\text{m}$ 、幅員  $W = \text{約 } 5.5\text{m}$ 、面積  $A = \text{約 } 200\text{ m}^2$

転落防止柵 1式

## 3 位置図

